

郵産労ユ安府支第9号
2019年11月6日

安芸府中郵便局長
山崎 浩文殿

郵政産業労働者ユニオン
安芸府中支部長
杉谷 宏幸

2019 年度年末年始業務運行に関する要求書

標記について、下記のとおり要求書を提出しますので、誠意ある回答を求めます。

記

1. 業務研究会を始める前に組合説明し、昨年度からの変更点及び新規施策について詳細と理由を明らかにすること。また、安芸府中局「2019年度年末年始業務推進計画書」は組合説明の前に渡すこと。
2. 業務研究会を組合との支部交渉終了後、速やかに全社員対象で行うこと。
3. 超勤発令は4H前を厳守すること。また、繁忙期であることから、管理者はサービス残業等発生することのないように勤務時間管理を徹底し、休憩・休息が確保できるように指導を徹底すること
4. 超勤・廃休の発令は、社員の体調に配慮し強制は行わないこと。
5. 社員の健康に配慮し、連続出勤は6日以内にする事。
6. すべての郵便関係社員に、1月1日から1月3日までの間に、最低1日以上 of 休暇を確保すること。
7. 12月31日から1月3日までは無超勤とすること。
8. 年賀販売について
 - ① 実需に基づかない買取の禁止や行き過ぎた営業強要・指導の禁止等、今プライアンスを順守した適正営業の推進に向け、コンプライアンス研修を実施すること。
 - ② 今期の臨時出張所を明らかにすること。またバイト雇用について説明すること。
9. 休配日の関係で、翌日の通常郵便物等の増加が見込まれます。その要員配置と対策を明らかにすること。
10. 年末始の年賀・通常郵便物は2パス交付すること。また、広島局との調整が行われる区分機処理計画を早期に組合へ情報提供すること。

- 1 1. 配達資料整備、カラーカード作成等、早期の準備を行うこと。
- 1 2. 年賀備品・事務用品等、事前に点検し用意すること。
- 1 3. インフルエンザ対策として、マスク・うがい薬・医薬品を点検・配備すること。
- 1 4. 労働災害防止のための指導を徹底すること。
- 1 5. 年末年始のゆうパックの想定引受物数が昨年より多い。ゆうパックの増加対策を明らかにするとともに、万全をきすこと。また、21 時までには委託者が帰局処理できるよう周知すること。
- 1 6. 年賀郵便物元旦配達結束打ち切り便は、12 月 30 日夜までとすること。
- 1 7. 年賀遅出し傾向であるので年明け対策を講じること。また、年明け年賀 2 パス交付は平準化するよう広島局へ伝えること。
- 1 8. 混合、通配別の日別要員計画や短期アルバイト雇用計画等を説明すること。また、雇用期間と勤務日、休日を事前に各班の社員に雇用計画表などにより周知し職場に掲示すること。
- 1 9. 郵便部外務で初めての年賀作業となる社員がいることから、ゼロ年賀実施区を昨年よりおさえ、短期道順組み合立てバイトを雇用すること。
- 2 0. ゆうゆう窓口において、繁忙期は引き受け、交付、販売物数が多く、また、法人集荷の廃止に伴う、窓口持ち込み郵便が激増している。補助応援や臨時窓口等の改善対策を講じること。

以上。